

令和元年度 都城市立丸野小学校 学校運営協議会委員評価書

学校経営ビジョン	21世紀を担うにふさわしい知・徳・体の調和のとれた人間力あふれる児童を育成するために、職員が「チーム丸野小」として団結し、学力向上を重要課題として捉え、全力で教育活動を展開していく。「認め・褒め・支え、鍛える」中で、「心身ともに健康でたくましく、自ら学び自ら考える子どもの育成」と「地域に信頼される学校づくり」を目指す。									
学校の教育目標	心身ともに健康でたくましく、自ら学び自ら考える子どもの育成									
めざす児童像	お 思いやりのある子ども か 考える子ども け 元気な子ども									
重点目標 (経営ビジョン)	1 分かる・できるの実現と基礎学力の向上を図る。 2 生徒指導の徹底を通して豊かな人間性の育成を図る。 3 健康安全教育の徹底を通して体力の向上と安全意識の向上を図る。 4 特色ある教育の推進を通して、地域に信頼される学校づくりを図る。					※ 評価の基準 4 …期待以上 3 …ほぼ期待通り 2 …やや期待を下回る 1 …改善を要する				
評価項目 (重点目標)	手段・ゴールイメージ			自己評価の結果(4段階)			学校の自己評価(成果と課題)	学校運営協議会委員の評価		改善策
	職員	保護者	児童	評価	意見等					
1 分かる・できるの実現と基礎学力の向上	1 「もっと楽しくもっと分かりやすい授業」を創造する(授業の工夫改善・基礎基本の徹底・言語環境の整備・主題研究の充実)	3.3→	3.3→	3.8↑	・実態分析(学級、全国学テ、みや学テ等)を通して、個や学級の実態を把握し、学力向上の課題を絞ってプリントを活用することができた。 ・重点支援訪問により、授業改善の視点を意識した授業づくりを継続的に進めることができた。 ・基礎学力向上をめざした「すくすくタイム」の取組内容をさらに工夫・改善できるよう学期・年間を通した計画を進める。	3.8	・学校と家庭との連携強化が十分になされている。常に、学力向上に向けて先生方が一丸となって努力されている。 ・先生方の授業に対する努力を、授業参観を通して確認することができる。素晴らしいと思っている。	・すくすくタイムで「書く活動」を取り入れ、書く機会を増やしたり、算数の平均に達していない領域や内容に重点的に取り組んだりすることで学力の向上を図る。 ・家庭学習の仕方について、4月に各家庭に説明文書と掲示物を配付し、さらに学級懇談や通信等で継続的に呼びかけ、意識を高めていく。 ・週に1時間程度の読書時間の確保、並行して読書や調べ学習を行うことで、本に対する興味・関心をもたせる。 ・くれよん号の来校では、各学年の貸出時間を確保し、読書への意欲を高める。		
	2 CRTテストの平均得点率(丸野小一全国)の差を前年より上げる	3.0	未	未	・経年変化では、算数で前年度を上回った学年が多く成果が見られる。 ・国語の「書く」こと、算数の3・5年でのつまずきに課題がある。				3.3	
	3 家庭学習のさらなる充実と工夫、習慣化を図る	3.2↑	3.0→	3.5→	・家庭学習の目標時間を増やして「家庭学習の手引き」を作成し、学級懇談会を利用した保護者への啓発や児童への意識付けにより、学力向上を図り学年に応じた習慣化を図ることができた。しかし、家庭により取組の差が見られ、徹底を図る工夫が必要である。					3.1
	4 読書活動の推進に努め、各学年の目標読書量を上回る	3.3↑	未	未	・月の目標読書量に対して低学年は目標8冊→15冊、中学年目標6冊→5冊、高学年目標4冊→4冊とほぼ達成できているが、中高学年の読書量をもう少し増やしていきたい。					
2 生徒指導の徹底を通じた豊かな人間性の育成	1 基本的な生活習慣を定着させ、きまりや約束を守る態度の育成	3.3↑	3.4↑	3.5→	・学校内での廊下歩行やあいさつの意識が高まっており、登校班では班長が率先してあいさつする姿が見られるようになってきた。しかし、下校時のきまりなど確認と徹底が見る必要がある。	3.8	・挨拶をよくしてくれる。小さい子にも優しく素直である。 ・決まりをよく守っている様子が見られる。 ・多くの体験活動の中で、表情豊かな子どもたちの姿が見られる。先生方の熱心な指導のお陰である。 ・緑豊かで、静かな雰囲気があり、児童玄関も靴が揃えられ環境が素晴らしい。 ・保護者から、上級生が優しく、子どもが楽しく通学しているという声が聞かれる。 ・落ち着いた子どもたちの姿が見られる。			
	2 各種体験活動を通して、自主性や自立、協調性の醸成	3.2↑	3.5↑	3.4↓	・落ち葉集めのボランティアを工夫することで参加する児童が増え、地域の花ボランティアの方との協働活動も行うことができた。今後も、地域や学校への貢献が実感できる活動の工夫を進めていく。			3.9		
	3 生徒指導の三機能を生かした、積極的な学級経営を行う(自己肯定感の育成、自己決定の場の自主的行動の習慣化)	3.1↓	3.6↑	3.3→	・すこやかアンケートをもとに児童理解に努め、問題行動や児童間のトラブル等の早期発見・早期解決に繋げることができた。放課後や休日に、家庭での約束事が守れず、深夜のゲーム使用により生活の乱れにつながることがあった。家庭でのルール作りなど連携を進める必要がある。				3.9	
	4 読み聞かせや読書活動で豊かな感性の醸成	2.9↑	2.4→	3.1→	・多読賞の表彰を行い、児童の読書意欲を高めることができた。また、図書館サポーターによる読み聞かせも児童が楽しみにしており、新聞への投稿による掲載へつながった。					
3 健康安全教育の徹底を通じた体力の向上と安全意識の向上	1 「自分の命は自分で守る」態度と能力を育成する(危険予知能力、回避能力の育成)	3.3↑	3.3↑	3.8↑	・昨年度の反省を生かし、計画的に避難訓練ができた。下学年だけの下校時に注意する必要がある。	3.3	・フッ化物洗口の取組の継続はよかった。 ・自分の命を自分で守るための危険予知能力・回避能力は多くの訓練を通して着実に身に付いていると感じられる。 ・きびきびとした動きから、体力向上の成果が感じられる。 ・下校時の様子も、おおむね決まりを守って一列で帰る姿が見られる			
	2 個に応じた、体力向上プランに基づく取組(業間の工夫、運動の日常化)	2.9→	3.4↑	3.7↓	・グーパー運動を継続して実施したが、昨年に比べ握力の向上があまり見られなかった。効果的な取組を図る必要がある。一校一運動としてランニング、持久走を全校で実施する。 ・頑張りカードを励みに、進んで取り組もうとする姿が見られる。サーキットや持久走・縄跳びの業間時間の確保と内容の充実を進める。			3.5		
	3 業間活動(サーキット運動・持久走・縄跳び)の工夫	3.4↑	3.3↑	3.4↓	・長期の休み明けに、計画的にチェックカードを配付したことで、家庭での意識も高まり、生活習慣を整えることにつながった。 ・6年生の弁当づくりの写真を参観日に体育館や廊下に掲示したことで、下級生の児童により刺激になっている。				3.8	
	4 家庭と連携しながら食育の推進(早寝・早起き・朝ご飯の習慣化、「弁当の日」の取組の充実)	3.4↑	3.3↑	3.4↓	・保健便り、学期毎の治療勧告カード、長期休業中の頑張りカードを通して、家庭への啓発を図ることで治療率は徐々に上がっている。学年に応じた治療の必要性を意識させていきたい。					3.8
	5 う歯治療率のさらなる向上	2.7↑	3.4→	3.5→						
4 特色のある教育の推進を通じた地域に信頼される学校づくりの推進	1 丸野小学校運営協議会の一層の活用と地域と共にある学校づくりの推進	3.3↓	—	—	・委員の御意見や評価を核にした学校評価システムを活用することで、より地域に根ざした、協働を図る教育課程を編成することができた。	4.0	・ふれあい活動については、指導者の方々の高齢化が進んでおり、指導者の方々に協力をいただくのがだんだん困難になってきている。今後、活動の内容についての見直しが必要である。年度当初から検討を進めていく。			
	2 地域の素材・人材・施設活用の工夫	3.4↓	3.6↑	3.8→	・多くの地域ボランティアの方に御協力いただき、教育活動を実施するとともに、今後の内容検討について共通理解を図ることができた。			3.6		
	3 学校便り・HP等を通じた学校・児童のよさや活躍の様子を家庭・地域への発信	2.9↓	3.5→	—	・毎月一回の地域の全戸に向けた「学校だより」の配付、ホームページへの新たな情報をアップするなど情報発信に努めることができた。				3.9	
	4 関係機関、各地域役員との積極的交流の推進	3.4↑	3.5↑	—	・担当の職員で分担し、地域や志和池地区まちづくり協議会等の行事に積極的に協力し、児童の積極的な参加が見られた。					3.8

